

美術科教育学会通信

◆1993年12月4日発行：美術科教育学会本部事務局

〒184 東京都小金井市貫井北町4丁目1-1

東京学芸大学美術学科内（柴田、増田研究室）

TEL. 0423-25-2111（内線2857、2856）FAX. 0423-21-3695

No. 111

事務局が移転しました

今年度の9月から、愛知教育大学より東京学芸大学へ事務局が移っています。ほぼ3ヶ月がたちましたが、まだまだ事務体制が整っていないのが実情です。学会の財政状態を考えて、学芸大学の現有パソコンシステムで、これまで蓄積されてきた会員情報を活用する方法を、増田理事を中心に様々に検討してきたのですが、どうもうまくいきません。それでつい最近、思い切って最新型オアシス・ワープロを学会費で買わせて頂きました。もうしばらくで学大事務局もうまく機能しだすと思いますので、いま少し寛容のほどお願い致します。

取り急ぎの連絡

来年3月の信州大会での発表申込は、11月30日までになっていましたが、12月20日（必着）までに延期いたします。事務局の移転で、例年より締め切りが早くなっていることを周知できなかったためです。ご迷惑をおかけした方々、特に十分な余裕をみて丁寧な案内をお送り下さいました信州大学の方々には申し訳なく思っています。これも初期故障とお見逃し下されば幸いです。なお、学会発表申込用紙と発表要旨作成要項を同封しておきますので、ご利用下さい。

最近の学会の動向

以上のような状態ですので、十分な通信をお送りしかねますが、最近の動きを報告しておきます。

1. 第16期学術会議登録団体として無事に登録されました。
2. 10月25日にべんてる働本社ビル会議室で学会総務部の第1回目の会議が行われました。総務部の活動については学会細則にも明記されていますが、これまでは特に開催されることはありませんでした。しかし学会が抱える諸問題を早急に整備していく必要があり、今回初会合をもちました。参加者は宮脇代表理事、石川・花篤両副代表理事、大橋理事（学会誌編集委員会）、藤江理事（前事務局）、柴田（事務局・学会誌編集委員会）の6名でした。なお総務部の活動につきましては、今年度の京都大会で了承されています。主な議題は以下の通りです。

- ・新入会員の承認（新会員のお名前は次回通信でお知らせします）。
 - ・学会誌の発刊体制の検討・・・従来の大会開催大学が発刊する方式が良いかについての検討。将来的には、学会誌編集委員会での検討を経て、分離される見通しです。
 - ・投稿論文の査読体制の検討・・・従来8月末の理事会が査読会を兼ねてきましたが、新たに独立した査読体制が検討されつつあります。
 - ・研究部会・プロジェクトの推進について・・・テーマ別の部会の発足が検討されています。現在のところデータ・ベース研究部会、アミューズ・ヴィジョン研究部会（藤江理事提案）、美術教育史研究部会が候補に上がっています。他にもご希望があればお伝え下さい。来年の信州大会で具体案をお諮りする予定です。
- 10月27日に富山県造形教育連盟との共催で出前シンポが開かれました。連盟の「個性がふれあう造形教育」というテーマ設定でシンポは行われ、宮脇、花鷲両理事がパネラーとして参加しました。
 - 11月3日に定期的刊行物の公的補助の申請を文部省で行いました。申請額は736,000円です。
 - 学会費の振込み番号と振込み用紙が変わりました。事務整理の簡便さから郵便貯金総合サービスを使うことにしました。しかし、このサービスの振込み用紙には口座番号、加入者などを印刷することは技術と経費の両面でむずかしく、各自で用紙を郵便局でもらい、記入して頂かねばなりません。ご不便をおかけしますが、ご理解下さい。下に振込み用紙の主要な部分を示しておきます。記載の番号が新しい口座番号です。

払 込 通 知 票 (郵便貯金総合サービス用)

払込先 口座番号	10050の 64710321	払込額	¥6000
同上 加入者名	美術科教育学会本部事務局	料金	円
払込人	おとろ (郵便番号)	備考	電信払込み
	おなまえ フリガナ		
通信文		区別	(3)本人払込み (35)本人払込み・カード (9)受入済速達通知 (0)受入済電報通知

まだまだ行き届かないことが多いと思いますが、様々にご要望をお寄せ下さい。大学宛で連絡のつかない場合には、夜分でも自宅の方へ遠慮なくお電話下さい。